

令和八年八月号

《第百六十四号》

しるへび

宗教法人岩國白蛇神社

〒740-0017

今津町六丁目4-2

☎ 30-3333

葉月の祭典・行事案内



【月次祭】九時半

十一日（火）

二十三日（日）

己巳の日

【白蛇供養祭】保存会主催

十六日（日）

【大掃除】九日（日）十七時

【昭和天皇御製】〈第一二四代〉

もともと「孝明天皇御陵」

百年のむかししのびてみささぎを
をろがみをれば春雨のふる

「秩父宮記念館」

おとうとをしのぶゆかりのやかたに
て秋ふかき日に柔道を見る

（昭和四十二年）

岩国護国神社 みたまつり

八月五日（水）十時

※ 献灯の受付をしてゐます

〔灯二千円〕

【夏越の大祓】

六月三十日

六月晦日午後三時より十五名の参列者を得て、大祓式が斎行されました。修祓の後に「大祓詞」を宮司が先導し、参列者は途中から一緒に奉唱しました。続いて、各自で切幣祓ひをしました。そして、当神社の御祭神に対して、あと半年間の無病息災と社会の平安を祈願し、忌み衣を奉りて拝礼しました。終りて



宮司の挨拶があり、小型の茅の輪が授与されました。夕刻には宮司により今津川雁木より、およそ二百人の人形を流しました。



【推薦図書】

『雑草と日本人』

植物・農・自然から見た日本文化

稲垣栄洋 著
九百円＋税

・「踏まれても踏まれても花を咲かせ、実を結ぶ」これが雑草の生き方である。種子さえ残すことができれば、後のことは何のこだわりもない。別に縦に伸びなければいけないということもないのだ。だから、雑草は縦に伸びたり横に伸びたり、自由自

『縄文の奇跡』

産経NF文庫

なぜ「縄文時代」は1万年も平和が続いたのかー日本の歴史構造の謎にせまるー

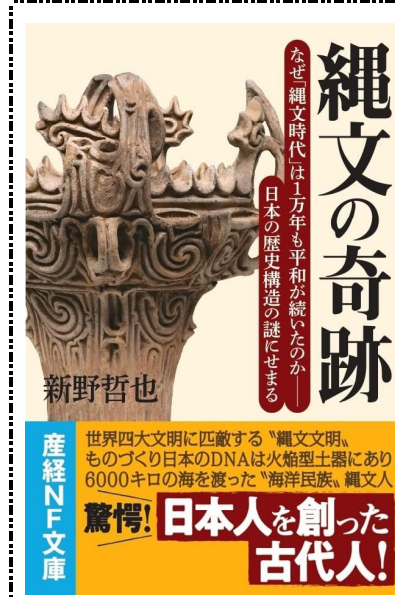
・「縄文の奇跡」のなにが奇跡なのかといえ、日本のような古い歴史をもった伝統国家はどこにもないからである。日本という国は、存在すること自体が奇跡なのである。現在、世界はすべて革命国家である。（略）革命国家は、自然や伝統、権威、共同体を否定して、個人や自由、理性だけで生きていけるという幻想に立つが、人間は不完全のみならず偏頗、不善なるエゴイストときている。そんなニンゲンを奉ってよい世界ができるだろうか？縄文人が数万

在に変化する。日本人はしなやかな強さで、柔軟に変化することができる。それでは今、私たち日本人にとって「変えてはいけない大切なもの」とは何なのだろうか。雑草を愛する日本人は、雑草たちからそう問われているような気がしてならない。

（エピローグから）



たと聞いてフシギな気がした。現代にはインターネットという便利なモノがあるので青森県の三内丸山縄文遺跡のデータや動画、画像をせっせと収集した。世界最古といわれているシュメール文明よりもはるかに古い文明を、われわれはもっているということを知って深くカンドーした。・・・
(はじめにから)



本居宣長

『直毘霊』を読む(十六)

すべて彼の国は、事毎にあまり細かに心を着けて、かにかくに論ひ定むる故に、なべて人の心賢しだち悪くなりて、なかなかに事をししこらかしつ、いよよ国は治まりがたくのみなりゆくめり。されば、聖人の道は、国を治めむために作りて、かへりて、国を乱れ種ともなる物ぞ。(続く)

【現代語訳】

総じて、あの国(中国)は、すべてのことについて、あまりにも細心の注意を払ひ、

あれこれと議論して決めてゆくために、全体的に人間の性格が賢そうに振る舞ひ悪くなつて、逆に事柄をこじらせこじらせして、一層国は統一されにくくなりゆくばかりであるやうである。だから、聖人の道は国家を統一しようといふために作成して、逆に国を混乱させる原因ともなるものだ。

「昭和百周年」にあたり

昭和二年、三木露風の「赤とんぼ」の詩に、山田耕筰が曲をつけて発表されました。



昭和三十 四年から 行はれた 在日朝鮮 人の帰還 事業にお いて北朝 鮮に渡つ た日本人 妻は一八 三一人で した。そ の日本 人妻の里 帰りが初 めて実現 し、十五 人が故郷 の土を踏 みました。

その歓迎会で彼女ら全員が手をつなぎ、歌ったのが「赤とんぼ」でした。北朝鮮では日本

語を使ふことはできず、窓を閉め切った部屋でひそかに日本人妻だけが集まり、小さな声でこの歌を合唱してゐたさうです。

【「三柵正典・明子展」の紹介】

当社の天井画と白蛇の大絵馬の制作者である三柵先生と奥様である明子先生の展覧会が広島県三次市の「美術館あーとあい・きさ」にて七月十九日から九月六日まで開催されます。



「ジャパニーズ・モダン」をテーマに、空間を現代アートで埋め尽くす表現活動を展開する三柵正典と木や土の温もりを大切に想像参加型アートとして人の内面をテーマに制作する三柵明子。二人のそれぞれの活動の軌跡と今後の道標を紹介する企画展です。(チラシ広告から)

美術館あーとあい・きさ

住所・三次市吉舎町546-1

☎ (0824) 43-2231

「アクセス」 JR吉舎駅から12分

中国やまなみ街道吉舎ICから25分